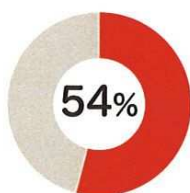


地震による電気火災から家と地域を守る

「感震ブレーカー」



地震による「電気火災対策」を！



地震による火災、その過半数は“電気”が原因です。

東日本大震災の火災調査では、原因が特定された108件のうち、58件(54%)が電気関係の出火でした。

※日本火災学会「2011年東日本大震災火災等調査報告書」より

地震が引き起こす電気火災とは？

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱



停電から復旧し、電源が入ったままのストーブが作動



散乱した紙類に着火し、火災が発生

家具が転倒し、電気コードが下敷きや引っ張りで損傷



通電の瞬間、損傷したコードがショート



散乱した室内の燃えやすい物に着火し、火災が発生

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気w遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

くわしくはこちらから！



「今、備えよう。大規模地震時における電気火災対策」
※総務省消防庁ホームページから引用

性能評価を受けた製品には、認証マークや推奨マークが表示されています。商品を選ぶときの参考にしましょう。



○住宅用火災警報器・感震ブレーカーに関するお問い合わせ○

茨城西南広域消防本部 予防課 ☎0280-47-0129